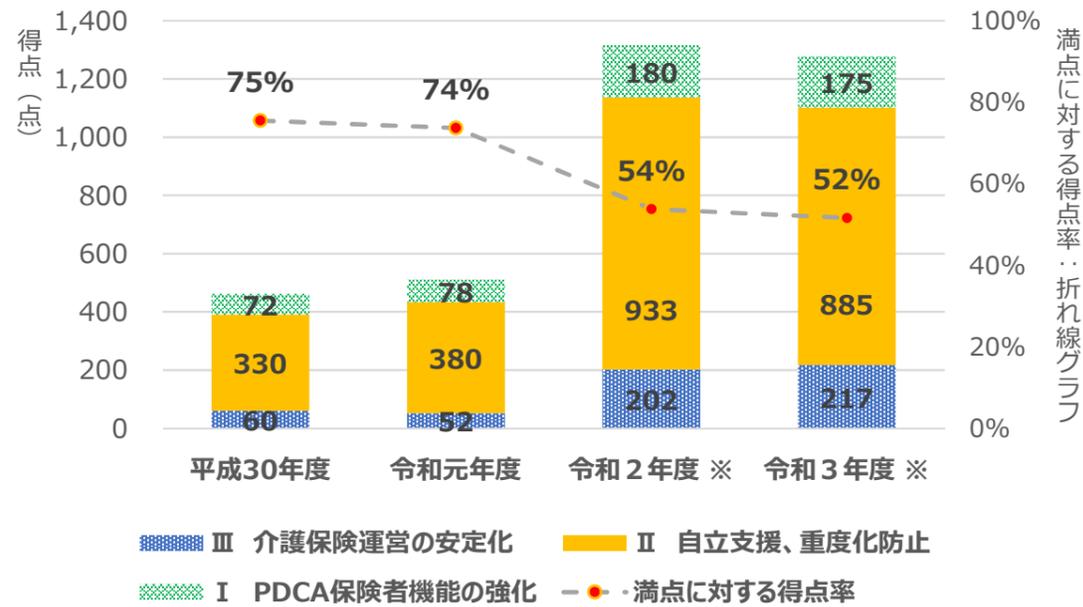


1. 評価結果の推移と今後の対応



※令和2年度以降は、保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金の評価結果の合計値
 ※令和3年度は、誤謬による修正を加味した得点・金額（見込み）

得点		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
Ⅰ～Ⅲの合計	満点	612	692	2,445	2,475
	市川市	462	510	1,315	1,277
	得点率	75%	74%	54%	52%
交付金額		5,559万円	5,715万円	8,729万円	8,115万円

■ 評価結果の推移

・介護保険保険者努力支援交付金が開始した令和2年度以降は、得点率が下がっている。

■ 今後の対応

・交付金の趣旨を踏まえ、介護予防や健康づくりの取り組みを強化する。

■ 参考（令和3年度実績・近隣市は総得点の順）

	満点	市川市	松戸市	千葉市	柏市	船橋市	浦安市	鎌ヶ谷市
Ⅰの得点	215	175	195	185	175	215	185	65
Ⅱの得点	1,965	885	1,315	1,291	1,243	1,101	931	440
Ⅲの得点	295	217	206	217	214	196	93	99
Ⅰ～Ⅲの合計	2,475	1,277	1,716	1,693	1,632	1,512	1,209	604

2. 分野別の結果と今後の取組み

Ⅰ PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築

■ 評価結果について

・令和3年度に新たな評価指標として追加された「要介護者等に対するリハビリテーション提供体制に関する取組や目標」が設定できなかったため、満点達成とならなかった。

■ 今後の取組みについて

・得点できている保険者の実施方法を研究し、次期計画に向けて準備する。

Ⅱ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

■ 評価結果について

・得点率は5割を下回っている。また、令和2年度と比べ得点が下がっている。
 ・介護支援専門員・介護サービス事業所等、在宅医療・介護連携は9割程度得点できている。
 ・介護予防／日常生活支援の得点が特に低く、得点率は3割台である。地域包括支援センター・地域ケア会議、認知症総合支援、生活支援体制の整備は得点率が約5割である。

■ 今後の取組みについて

地域包括支援センター・地域ケア会議に関する取組

・個別ケースを検討する地域ケア会議の開催件数を増やすとともに、抽出した課題を基に施策形成を検討する体制づくりに努める。

認知症総合支援

・令和3年度から専任配置した認知症地域支援推進員を活用した施策推進に努める。

介護予防／日常生活支援に関する取組

・虚弱高齢者等の介護予防に効果的な短期集中予防サービスの実施に向けて取り組む。
 ・行政他部門や地域の多様な主体と連携して介護予防を進める体制を構築していく。

生活支援体制の整備

・生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加を増やし、個別支援を通じた地域づくりを促進する。

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進

■ 評価結果について

・介護給付の適正化等、介護人材の確保とも7割以上の得点率となっている。
 ・得点が低かった項目は、ケアプランや適正化の帳票の点検件数、介護人材確保のためのボランティアポイント制度の取組み等である。

■ 今後の取組みについて

介護給付の適正化等

・点検件数の向上に努めるとともに、新たに追加される居住系施設等に対する適正化に向けて取り組む。

介護人材の確保

・地域の助け合い活動の人材を育成する生活支援サポーター養成研修において、修了者が円滑に活動につながるよう、フォローアップの改善等に努める。